

第3次船橋市環境基本計画の中間見直しについて

資料3

各施策担当課と調整した結果、個別施策や進行管理指標について見直しを行う内容について案を以下に示します。

(i) 個別施策

1. 新規の施策

施策番号	個別政策	具体的な内容	基本施策 施策	担当課
	気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の運用	気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）について、協力施設を募り申出に応じ指定する。併せて掲示紙や周知の方法について利用実態を鑑みて改善を図る。	基本施策1 地球温暖化対策の総合的な推進 気候変動への適応	環境政策課
	事業者と連携による市民のリユース活動の促進	本市内において、家庭で不要になったけれどもまだ使えるものをジモティースポット船橋に持ち込み、必要とする人が有償あるいは無償で引き取る。これにより、本市におけるごみの削減ならびに再利用の促進を図る。	基本施策8 循環型社会の推進 ごみの排出抑制	資源循環課
	事業者と連携による資源化推進	HOYA(株)アイケアカンパニーと協定を締結し、市役所本庁舎1階にコンタクトレンズ空ケースの回収ボックスを設置する。回収した空ケースはプラスチックとして再資源化される。	基本施策8 循環型社会の推進 資源化の推進	資源循環課
	「ふなばし環境検定」による環境学習の推進	市ホームページに「ふなばし環境検定」を掲載する。教育委員会と連携し、小中学校における環境教育の際に「ふなばし環境検定」を活用してもらう。	基本施策13 船橋の環境を担う「ひと」づくり 環境学習の場所・機会の提供	環境政策課
	事業者と連携した環境イベントの実施による環境学習の推進	船橋市とIKEA Tokyo-Bayとの包括連携協定に基づく環境分野に関する連携事業として、持続可能な社会の形成について考える契機となる、館内サステナブルツアーを実施する。	基本施策13 船橋の環境を担う「ひと」づくり 環境学習の場所・機会の提供	環境政策課
	市と協定締結事業者が連携した事業の実施	事業者等と個別協定、包括連携協定を締結し環境分野における連携事業を実施し、市民、事業者、大学等研究機関、行政等の協働を促進する。	基本施策15 協働を促進する「しくみ」づくり 協働を促進する制度づくりと活用	環境政策課

2. 統合する施策

施策番号	個別政策	個別政策（統合後）	統合後の担当課	個別施策を統合する理由
136	「プラスチック・スマート」キャンペーンへの賛同及び海洋ごみ削減の取組の積極的な推進	市民・事業者等に対するプラスチック・スマートへの取組の普及啓発及び海洋ごみ削減に向けた取組みの積極的な推進	環境政策課 環境保全課	プラスチック・スマートに関する取組みで実施している内容が似ているため。
137	市民・事業者等に対するプラスチック・スマートへの取組の普及啓発			
200	「船橋市景観計画」に基づく景観形成の推進	「船橋市景観計画」、「環境共生まちづくり条例」に基づく景観形成の推進	都市計画課	景観形成の推進のため事業者に対し各種届出を求める取組みで実施している内容が似ているため。
201	良好なまちなみの創出に向けた宅地開発事業の指導			
202	土地の造成・建築物の建築などにおける景観への配慮指導			

3. 個別施策を修正する施策

施策番号	個別政策（見直し前）	個別政策（見直し後）	担当課	個別施策を修正する理由
2	市民・事業者に対するクールチョイスの普及啓発	市民・事業者に対する デコ活 の普及啓発	環境政策課	実態に合わせて、クールチョイスをデコ活へ修正する。
5	船橋市ゼロカーボンシティ推進地域協議会への参画促進	船橋市ゼロカーボンシティ推進地域協議会（ ふなエコ ）への参画促進	環境政策課	実態に合わせ、“船橋市地球温暖化対策地域協議会”を“船橋市ゼロカーボンシティ推進地域協議会（ふなエコ）”へ修正する。
19	感染症の予防に向けた 情報提供	感染症の 発生状況の把握 と予防に向けた 注意喚起や周知啓発	健康危機対策課	従来より各種感染症の発生状況の把握とそれに応じた注意喚起・普及啓発を実施している。地球温暖化に起因する主な感染症は蚊媒介感染症であるため、これについて委員意見を踏まえて発生状況の把握、と注意喚起・普及啓発を追記する。
29	建築物省エネ法に基づく届出対象建築物に対する指導・助言	建築物省エネ法に基づく 届出対象建築物に対する指導 ・ 省エネ基準への適合に関する助言・相談	建築指導課	建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律の改正に伴い、令和6年度で届出制度が廃止され令和7年度より省エネ基準適合が義務化されたことから、届出に対する指導・助言から、基準適合に関する助言・相談に修正する。
43	小中学校・公民館等への太陽エネルギー利用設備の設置	小中学校 ・ 公民館等 公共施設 への太陽エネルギー利用設備の設置	環境政策課 施設課 社会教育課	船橋市地球温暖化対策実行計画に基づき、小中学校及び公民館を含め公共施設への太陽光設備の導入促進を環境政策課にて実施しているため。
157	臨海部等での新たな移動手段（コミュニティサイクル等）の導入促進	シェアサイクルの普及促進	政策企画課	環境への負荷の軽減等の効果が期待できる自転車利用を促進するため、令和4年度よりシェアサイクル事業を実施している。当初は効果検証するため地域を限定し船橋駅周辺において試験施行していたが、現在は本格実施し事業範囲を市全域に拡大しているため修正する。

施策番号	個別政策（見直し前）	個別政策（見直し後）	担当課	個別施策を修正する理由
222	（仮称）ふなばしエコカレッジの開講	（仮称）ふなばしエコカレッジの開講	環境政策課	実態に合わせて、（仮称）を削除する。
248	自然科学研究所等を対象とした立地及び設備投資に対する補助制度の実施	自然科学研究所等を対象とした立地及び設備投資に対する補助制度の実施	商工振興課	令和4年4月の要綱改正に伴い、立地（土地）に対する補助制度がなくなったため修正する。
256	（仮称）ふなばしエコカレッジ卒業生の体験入団を通じた環境団体の後継者育成	（仮称）ふなばしエコカレッジ卒業生の体験入団等 を通じた環境団体の後継者育成や環境活動の促進	環境政策課	実態に合わせて、（仮称）を削除する。 また、市が関わる事業等について、エコカレッジ卒業生に参加を呼びかけている実態に合わせて追記した。
261	生物多様性情報室を利用した情報交換のしくみづくり	生物多様性情報室ふなばしエコベースを利用した情報交換のしくみづくり	環境政策課	実態に合わせて、生物多様性情報室をふなばしエコベースへ修正する。

4. 担当課を修正する施策

施策番号	個別施策	担当課	担当課を変更する理由
25	公共施設への省エネルギー設備の積極的な導入・導入促進	環境政策課 社会教育課 文化課	船橋市地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設への省エネルギー設備の導入促進を環境政策課にて実施しているため。
44	地域バイオマス等を利用したバイオガス発電の導入検討・推進	環境政策課 資源循環課 下水道施設課	両下水処理場においてはすでに消化ガス発電を開始している。また、西浦処理場のバイオマス利用については資源循環課が検討を進めており、環境政策課での検討を終了したため。
112	地場産品（農産物・水産物）の地産地消のしくみづくりと推進	商工振興課 農水産課	令和5年度で市内産品のセレクションやセレクションした商品の販売会などを行うふなばし産品ブランド推進事業が終了し、ふなばし産品ブランド協議会を解散したため。
198	放射性物質のモニタリング、ホームページ・広報誌を通じた情報提供	衛生指導課 環境保全課 農水産課 公園緑地課 保育運営課 地域子育て支援課 療育支援課 下水道河川管理課 学務課 青少年課 生涯スポーツ課	数年間測定結果が上昇しておらず、令和4年度に放射能対策会議が開催され、各施設所管課による測定を終了したため。
201	良好なまちなみの創出に向けた宅地開発事業の指導	都市計画課 宅地課	都市計画課の施策において景観形成の推進のため事業者に対し各種届出を求める取組みで実施している内容が似ており統合を行ったため。
212	新設道路における無電柱化・電線類の地中化の推進	道路計画課 道路建設課	令和2年度に船橋市無電柱化推進計画を策定済みであり、道路建設課において進捗管理を行っているため。

(ii) 進行管理指標

1. 新規の状態指標

基本施策	指標名称	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	担当課
13 船橋の環境を担う「ひと」づくり	ふなばしエコカレッジ卒業後の環境活動実施者数	未集計	毎年度15人の増加	環境政策課
14 船橋の環境を育む「つながり」づくり	ふなばし環境フェアの参加団体数	52団体	60団体	環境政策課
15 協働を促進する「しくみ」づくり	市と環境分野における連携協定を締結した事業者等の数	35団体	連携事業者等数の増加	環境政策課

2. 修正する状態指標

基本施策	指標名称	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和12年度)	担当課
4 親しみやすい水辺の創出	水辺を身近に感じる市民の割合 (定期アンケート調査による)	調査実施前 37.5% (※1)	割合の向上(調査毎) 50%	環境政策課
5 まちの緑の育成	みどりに対する満足度 (定期アンケート調査による)	調査実施前 63.5% (※1)	満足度の向上(調査毎) 75%	環境政策課
6 多様な生態系の保全	生物多様性の認知度 (定期アンケート調査による)	調査実施前 40.6% (※1)	認知度の向上(調査毎) 43%	環境政策課
9 廃棄物の適正処理の推進	産業廃棄物の不法投棄覚知件数	31件	20件 15件	廃棄物指導課
10 良好な大気の大気保全	公共交通機関路線バスの一日当たり利用者数	71,739人/日	現状維持 現状以上	道路計画課

※1 令和4年度実績値

3. 新規の目標指標

基本施策	指標名称	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	担当課
8 循環型社会の推進	スマートフォン向けごみ分別アプリ総アクセス数	527,600件	707,600件	クリーン推進課
13 船橋の環境を担う「ひと」づくり	ふなばしエコカレッジ実習講座の参加人数	78人	100人	環境政策課
15 協働を促進する「しくみ」づくり	市が関わる事業等へのエコカレッジ修了生の参加者数	28人	30人	環境政策課

4. 削除する目標指標

基本施策	指標名称	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和12年度)	担当課
8 循環型社会の推進	スマートフォン向けごみ分別アプリ累計ダウンロード数	19,425件	66,000件	クリーン推進課
15 協働を促進する「しくみ」づくり	(仮称) ふなばしエコカレッジ卒業後の体験入団数	実施前	30人	環境政策課

5. 修正する目標指標

基本施策	指標名称	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和12年度)	担当課
6 多様な生態系の保全	多自然川づくり整備延長	5,110m	6,560m 5,750m	下水道河川整備課
6 多様な生態系の保全	ふなばし三番瀬クリーンアップ 参加人数	722人	1,000人 1,250人	環境政策課
6 多様な生態系の保全	指標種のモニタリング調査報告 件数	実施前 32件(※1)	300件	環境政策課
8 循環型社会の推進	食品ロス削減に取り組む「ふなR 連携事業者」延べ数	3件	28件 32件	廃棄物指導課
9 廃棄物の適正処理の推 進	マニフェストの電子化率	63%	80% 85%	廃棄物指導課
1 1 健全な水環境の保全	流域貯留浸透事業に基づいて整 備した雨水貯留浸透施設の整備 率	57%	67% 64%	下水道河川計画課
1 2 快適な生活環境の保 全	駅前等清掃業務委託での回収ご み量	30,050Kg	16,200Kg 29,410Kg	クリーン推進課
1 3 船橋の環境を担う 「ひと」づくり	（仮称） ふなばしエコカレッジ 卒業生数（毎年度）	実施前 30人(※2)	45人 30人	環境政策課
1 4 船橋の環境を育む 「つながり」づくり	クリーン船橋530の日参加人数	7,666人 5,273人(※3)	11,000人 5,900人	クリーン推進課
1 3 船橋の環境を担う 「ひと」づくり	ふなばし環境フェア参加人数	2,400人	3,000人 3,600人	環境政策課

※1 令和3年度実績値

※2 令和5年度実績値

※3 令和6年度実績値

第3次船橋市環境基本計画の中間見直しに関するご意見のとりまとめ（参考）

1. 個別施策について

No	ご意見	本市の考え
1	<p>全般的に、固有名詞の表記に関し、現在の実態に合わせ、見直し・修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策番号2：クールチョイス → デコ活 ・ 施策番号5：船橋市地球温暖化対策地域協議会 <p>→ 船橋市ゼロカーボンシティ推進地域 協議会（愛称ふなエコ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策番号136 & 137：プラスチック・スマート → 分かりやすく、注記追加する。 ・ 施策番号222：（仮称）ふなばしエコカレッジ → （仮称）削除 	<p>固有名詞の表記に関しては、実態に即して修正いたします。</p> <p>注記の追加に関しては、今回の見直しでは、現行の計画の構成は変更せずに、個別施策と進行管理指標に焦点を絞り見直しをさせていただき、その他の修正点等については次期基本計画の策定時に世界の動向等を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>コロナウイルス感染症の発生により、下記を同一レベルでの施策を検討する。</p> <p>施策番号19の表記を20と同一にする。</p> <p>施策番号19：感染症の予防に向けた情報提供</p> <p>施策番号20：熱中症患者の発生状況の把握と予防に向けた情報提供、注意喚起、普及啓発</p>	<p>従来より、各種感染症の発生状況の把握、それに応じた注意喚起・普及啓発を行っており、「地球温暖化に起因する主な感染症である蚊媒介感染症について、発生状況の把握や注意喚起、普及啓発」を追加修正いたします。</p>
3	<p>施策番号136 & 137 プラスチック・スマート個別施策の統一</p>	<p>プラスチック・スマートに関する取組みで実施している内容が似ているため、統合いたします。</p>
4	<p>施策番号72 民間建築物等における屋上・壁面緑化の誘導</p> <p>工場内での緑地率向上が緑化推進の期待度が高いため、工場環境施設面積比率の向上への依頼</p>	<p>千葉県や近隣市（市川市、松戸市、千葉市、柏市等）と比べ同水準若しくはそれ以上の基準であり、現時点では修正は検討していません。</p>
5	<p>施策番号9 エコノート普及事業の促進等</p> <p>企業では温対法などの関係でこうした数字は取っているが、各家庭でこのノートを継続してつける(実践率を向上させる)には、動機付けを工夫する必要があるのではないか。昔、夏休みのラジオ体操を皆勤すると景品が貰えたような仕組み。</p>	<p>エコノートについては、各イベントなどでの配布の機会を増やすとともに、エコノートの取組を含む家庭における温室効果ガスの排出量の見える化の推進については、ご意見いただきました動機付けの観点も考慮した周知・啓発を検討してまいります。</p>

No	ご意見	本市の考え
6	<p>施策番号26 電気自動車、燃料電池自動車などの普及促進</p> <p>欧州でも電気自動車一辺倒の政策が見直されつつあると報道されている。個人で電気自動車を購入するには条件がある。またガソリン車と比較して製造段階からのライフサイクルでCO2削減量を比較した場合、電気自動車の優位性が出るまでには相当期間の長期使用が前提となるという報道もあることから、電気自動車の利用促進は状況を精査する方が良いのではないか。(将来的には課題は解決されていくであろうことから、あくまでも現時点での状況を確認してメリットデメリットを判断するのが良いのではないか)</p>	<p>施策は継続させていただきますが、御意見のとおり、電気自動車にはライフサイクルCO2の観点から、高い優位性を持つには、充電に供される電力が、脱炭素化されている必要があります。本市の電気自動車等への補助要件は、住宅用太陽光発電システムを設置しており、発電した電気を電気自動車またはプラグインハイブリッド自動車に充電できることとしており、今後につきましても、ご意見を踏まえ、再生可能エネルギーの活用と合わせ、情報発信してまいります。</p>
7	<p>施策番号59 市民ニーズを踏まえた身近な公園づくり</p> <p>施策番号64 新たな特色ある公園等の整備検討</p> <p>施策の違いが分かりにくい。重なる部分も多いのではないかとと思われる。</p>	<p>施策番号59は、市民ニーズを把握し、ニーズの高い利用ができる公園整備を進めるものです。</p> <p>施策番号62は、地域特性を活かした公園や特徴的な施設などの整備を進めるものです。</p> <p>よって、両施策は目的や手法が異なることから、統合すべきではないと考えます。</p>
8	<p>施策番号113 地場産品(農産物・水産物)のしくみづくりと推進</p> <p>施策番号114 地産地消に向けた意識啓発</p> <p>所管課が113農水産課と商工振興課で114消費生活センターとなっていますが、関連した取り組みであると思いますので、所管が分かれているより、共同の方が良いのでは。昨年11月の地域工業団体連合会の研修・交流会では商工振興課の方が水産物のコノシロをアピールされていてこうした取り組みを知ることが出来ましたので、連携すればもっと良くなると思います。</p>	<p>経済部農水産課において、船橋市の新たな特産品としてコノシロの普及促進に努めているところでございます。委員各位が地域工業団体連合会の研修にてご覧になられた事例は、その取り組みの一環で、同じく経済部である商工振興課が農水産課に協力をしたものになります。</p> <p>既に経済部内で連携して実施しているため、施策についてはこのままとさせていただきますが、今後も連携しながら地産地消の推進を行ってまいりたいと考えております。</p>
9	<p>ご質問の対象個別施策は無し。</p> <p>多岐にわたる所管部署の個別施策を俯瞰したところ全体として過不足なく現状を踏まえて施策が作られていると思った。</p> <p>推進方法等については問4欄に記す。</p>	<p>—</p>

No	ご意見	本市の考え
10	<p>施策番号11 温室効果ガスの吸収源対策で海洋の吸収促進として三番瀬の藻場再生活動促進</p> <p>森のCO2吸収促進も大切であるが、船橋は三番瀬という広い干潟があり昔はアマモ・コアマモや多様な藻が生息しており、CO2の吸収に役立っており、その生態系も豊かで特に底生生物のCO2固定はグリーンカーボンとして環境省でもみなおされている。</p>	<p>現在の多目的な人工海浜の利用を考慮すると、藻場の再生を取組とすることは難しいと考えます。</p> <p>しかしながら、ブルーカーボンについては、温室効果ガスの固定及び生物多様性の保全に寄与するものであるため、他事例等を含めて調査研究を進めていきたいと考えています。</p>

2. 進行管理指標について

No	ご意見	本市の考え
1	基本施策①地球温暖化対策の総合的な推進に熱中症同様、感染症に関する状態指標&目標指標を追加する。	感染症の発生については、国内外での発生・流行状況等による影響も大きく、施策と結び付けて動向を評価することが難しいため、目標等の指標設定は困難であると考えています。
2	状態指標：番号16：リサイクル率の定義、算出方法を教えてください。	<p>以下のとおりです。</p> $\text{リサイクル率} = \frac{\text{資源物（有価物とビン、カン、ペットボトル等の合計）}}{\text{ごみ排出量}}$
3	<p>目標指標全般について、当初、数値目標・設定困難なため、目標指標 を設定しなかった項目が結構あるが、現状見直し、設定を検討する。</p> <p>例えば、目標指標・番号25：廃プラスチック対策の推進における、海洋プラスチックごみについて、目標指標の設定は出来ないでしょうか。（船橋市と連携協定を結んでいる日大・生産工学部の調査が進んできている）</p>	<p>ご指摘の施策については、現在、協定に基づく調査により発生源の把握及び対策を検討しているところですが、個々の河川・海域などでプラスチックの流入経路や蓄積過程が異なっており、現状把握が難しいことから、具体的な対策が定まっていない状況です。</p> <p>その他の施策においても、計画書に記載のとおり数値設定が困難であるため、指標を設定しないものと考えています。</p>
5	目標指標：番号23：「ふなR連携事業者」数の目標値を更にアップ修正しては、どうでしょうか。種々活動により、大きく効果が出ていると思います。	ご指摘を踏まえ、目標値を修正いたしました。
6	質問：目標指標：番号43：校外学習での教育施設の使用率は、小1～小6までの1学年でも利用すれば、学校として、使用カウントされるのでしょうか。	お見込みのとおりです。

No	ご意見	本市の考え
4	<p>目標指標③創エネルギーの推進・再生可能エネルギーの導入推進に、公共施設（小中学校・公民館等）への太陽エネルギー利用設備の設置を追加する。</p> <p>公共施設（小中学校・公民館等）への太陽光発電パネルの設置が具体的に進められ、目標指標として、分かりやすく市民への説得力があると思う。</p>	<p>令和4年度から本庁舎・学校・公民館等の避難所施設等に太陽光発電設備を設置しており、現時点で93施設に設置済みです。また、令和7年度は3施設への設置を進めています。現時点で、太陽光パネルを広く設置することが可能と思われる施設は残り少なく、今後の目標指標設定には適さないものと考えます。</p>
7	<p>目標指標：番号50：ふなばしエコカレッジ卒業後の体験入団数 → 卒業生の環境保全活動の実施率 が適切かと思います。</p> <p>卒業後、実際に環境保全活動を実施しているかどうかを、指標とした方が良い。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、指標について見直しを行いました。</p>
8	<p>②省エネルギーの推進</p> <p>6一世帯当たりの都市ガス使用量</p> <p>夏季の猛暑と暑さと気温の高い状態が長引くことに加え、冬季の暖冬傾向で、ガスの消費量は減少していると聞いています。</p> <p>各家庭での省エネルギーの取り組みを図るのであれば、(減少分を計測可能であればという条件付きですが)環境変化による自然減の分を修正した目標にした方が良いのではないかと。</p>	<p>減少分を計測することは不可能なので目標の変更は困難であると思われます。</p>
9	<p>⑬船橋の環境を担う「ひと」づくり</p> <p>44 (仮称)船橋エコカレッジ卒業生数</p> <p>資-75の表ではまだ(仮称)エコカレッジとなっていますので、次年度には4期目を迎えますから、この機会に仮称を取った方が良くと思います。</p> <p>講師の方の都合もあるのでやむを得ないとは思いますが、このスケジュールで平日開催では参加可能な方は少ないか、属性が偏るのではないのでしょうか。</p> <p>アンケートによると環境問題に関心がある方も多ようですから、年1くらいで特別講座を設けるのも検討してみたいかでしょうか。</p>	<p>(仮称)については削除いたします。</p> <p>ふなばしエコカレッジでは、効果的な受講になるように、それぞれの講座のつながりを考えながら、講座の設定をしています。そのため、一つの講義等を特別講義等として設定することは難しいものと考えます。また、春や秋の休日には、小学生親子を対象とした自然散策会、夏休みはセミのぬけがら調査等を実施しています。</p> <p>委員のご指摘にもありますように、現在の事業で参加できていない方々もおりますので、それらの方々のニーズも踏まえ検討し、効果的な自然環境保全の取組につなげてまいります。</p>

No	ご意見	本市の考え
10	<p>ご質問の対象進行管理指標は無し。 各項目共通の計画目標年度（R12）の目標値について。</p> <p>例えば5. 一世帯当たりの電力使用量2,606kWh 8. 市内における再生可能エネルギー設置容量 97,110kW等他多項目の目標値について、具体的な対策に基づくのか不明で評価できない。備考欄に記すべきでは？ また一例として18. ごみ総排出量185,106tは有効数字6桁の信頼性が有る実現の可能性の高い熟考された具体策に基づくものか、単なる何%/年削減と仮定しての計算結果なのか、後者なら表記はせいぜい185,000tでしょう。 見直しに当たっては、各担当課は各項目毎に具体策の真剣な吟味を更に積み重ねて頂きたい。 ただし、私は状況をよく理解していないので、ピント外れな意見でしたらお許しを。</p>	<p>各指標の目標値については、各所管課の所管計画などで策定している数値を引用しているものが多くございます。いずれも策定時の実績から各々の基準・計算方法に基づき目標設定をしているため、一律で有効数字何桁までと設定する事は難しいと考えます。</p>
11	<p>状態指標4 熱中症搬送車数 計画目標年度（R12年度） 50%</p> <p>現在熱中症対策において防止の注意喚起はかなり浸透しており、その予防グッズも安くて良いものが市販されている。5年後には少なくとも半減させる。</p>	<p>令和6年中熱中症搬送者で65歳以上が5割以上を占めています。地球温暖化による温度上昇や、高齢化に伴う高齢者の増加を考えると、広報活動等で呼びかけを実施したとしても半減を目標とするのは現状難しいと考えます。</p>

3. その他中間見直しに関するご意見

No	ご意見	本市の考え
1	<p>各施策の進行について（主に施策番号72 民間建築物等における屋上・壁面緑化の誘導への意見 工場の環境施設面積比率の引き上げについて）、内容によって法規制（例：条例の制定）に向けた検討が議論されてもいいと思っています。</p>	<p>いただいた意見について各担当課に共有いたします。</p>

No	ご意見	本市の考え
2	<p>環境基本計画のコラム欄は、分かりやすく、理解する上で有効だと思います。見直し時に、持続可能な社会を目指す上で、世界の動向等について、何点か追加検討しては、どうでしょうか。例えば…</p> <p>* 日本：第6次環境基本計画から自然再興（ネイチャー・ポジティブ）、炭素中立（カーボン・ニュートラル）、循環経済（サーキュラー・エコノミー）の統合 → 持続可能な地域と暮らしの実現（ウエルビーイング）を盛り込んだコラム欄の作成</p> <p>* 気候変動と生物多様性館の相互影響（コベネフィット）:別問題ではなく、相互に影響し合う気候変動（IPCC/AR6）生物多様性（IPBES）具体例を示し、分かりやすいコラム欄の作成</p> <p>* 気候変動（IPCC）とSDGs各目標間の、シナジーとトレードオフについて分かりやすく解説したコラム欄・作成（IPCC/AR6 統合報告書・参照）</p>	<p>今回の見直しでは、現行の計画の構成は変更せずに、個別施策と進行管理指標に焦点を絞り見直しをさせていただき、その他の修正点等については次期基本計画の策定時に世界の動向等を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>問1に関して</p> <p>委員としては初年度を務め、限られた時間の中で初めて目にする資料を見ながら項目を検討して多いと感じたという、個人的な感覚であり、具体的に無駄な項目があるということではありません。ただ評価がC以下のものに限ってもすべての項目を審議会で討議する時間は無いでしょうから、意見交換をどうするかは課題だと思います。</p>	<p>限られた時間において会議を進行する必要がございますので、資料の作成の仕方や、会議の進行方法について改善を図ってまいります。</p>
4	<p>問2、問3で記載した以外の点について。</p> <p>クリーン船橋530の日に関して。地域の自治会で何度か参加しましたが、印象として自治会活動が低迷していることも参加者が伸びない理由としてあるのかなという気もしています。</p> <p>因みにですが、530の参加者数に連合千葉の参加者数は入っていますか。</p> <p>都内勤務の頃、連合東京の地域協議会経由で参加要請がありましたので、そちらで労組として530運動に参加しておりました。今は組合員ではないのですが連合千葉でも同様の取り組みはしていると思うのですが、どうでしょうか。</p>	<p>連合千葉の皆様が、「クリーン船橋530の日」に清掃活動をしていただいていることは承知しております。しかしながら、公表している「クリーン船橋530の日」の参加者数には含まれておりません。</p> <p>これは、全市立小学校に配置した収集業者が「ごみを持ってこられた人数」を数えて参加者数としているためです。連合千葉の皆様のように、市立小学校以外の集積所にごみを持ってこられた人数は集計できていないのが現状です。</p> <p>集計方法の検討も含め、参加者数が増えるよう今後も周知等に努めてまいります。</p>

No	ご意見	本市の考え
5	<p>『令和5年度船橋市環境基本計画 個別施策の取組結果及び令和6年度の目標一覧』において、施策の評価「C」で、施策展開上の課題「特になし」の項目について。</p> <p>評価に対するコメントでC評価とした理由が記載されており、概ね目標が達成されていることがわかるものは良いが、個別施策番号130と132については、Cは一部改善の余地があるという評価なので、課題が特になしで良いのか疑問が残るところです。</p>	<p>Cの理由については、再資源化施設の情報収集を実施をしているものの情報の整理が遅れているためです。施策展開上の課題は実績を踏まえ追記しました。</p>
6	<p>審議会全体を通して</p> <p>これは批判と捉えられると困るのですが、審議会で委員の方の中でも普段から熱心に活動されているのだと理解していますが、特定の範囲で審議が集中し、発言の機会がない委員もいらっしゃるのでは、広く有識者や団体代表者の意見を聞くということになっていないように感じられるところがあります。もちろん、異議はないので反対意見があるということではありません。議長も時間内で質疑を完結しないといけないということもありますので、問いには答えなければならぬ訳ですが、議長も一呼吸入れられるように事務局の方でテンポを変えるというか、他の委員の発言を促すような流れの変化をつけた方が、他の委員も発言しやすいのではないかと思う次第です。</p> <p>私自身も、もう少し参加すべきだなと反省するところでもあります。</p>	<p>ご意見として承ります。今後も事前にご質問をお伺いし、特定の委員の方からのご発言とならないよう注意してまいります。</p>
7	<p>環境に関しては分野が広く委員の方も得意不得意が有るとされる。</p> <p>得意分野別のグループとして重点的な取り組み4グループに分けグループごとに検討して纏めてはどうか。</p> <p>この方が効率的にきめ細かく検討できる。</p> <p>グループごとに集まると委員の繋がりも強く成り意見の交換によるコミュニケーションが良くなる。</p>	<p>見直しについては、審議会委員の皆様からいただいた意見を踏まえて、施策担当課にて実現可能かを判断しています。</p> <p>次期計画策定時には部会を別けた協議について、検討してまいります。</p>

No	ご意見	本市の考え
8	<p>市の環境基本計画それに基づいた中間見直しはこれまで作り上げて来た構成に拠るので、今後もこの大枠はこの軌道にのせて行くのが良いと思います。</p> <p>私はそれに加えて、市もこれまでも十分配慮されてきてはいますが更に、下記の視点からの実際の行動の見直しも加えていったらどうかと思います。</p> <p>市が働きかけて環境を実際に良くしていける分野・施策は、市関連事項は当然ですが、一般市民関連事項だと思います。企業や組織関連事項は、現在の環境問題への取り組みは極端な言い方になりますが、市等他からの指図や教導により左右されるものではなく、多くは各々自分自身の近い将来の死活問題としての今取り組んでいる最大の課題でしょう。</p> <p>従って市が只今力を入れて取り組む環境問題への取り組む姿勢は、一般市民一人一人に「そうだなー、私も出来ることからやろう。」と思ってもらい、動き出してもらう事に対し、毎年度最重点的に注力していくことを考え、評価し改善を加えていくことだと考えます。</p> <p>令和5年度年次報告書でも一般市民関連事項の評価が全体的に低いように思えます。多くの施策を一律に評価するのではなく、一般市民一人一人に向けた施策に重点を置き全力を傾注して見直し、改善、推進をしていく重点的取り組みが有ってもいいのではと思いました。</p> <p>その効果も、先の1970年代のオイルショック時とは異なり、一般市民一人一人では僅かでも六十余万人の全船橋市民による総計は大変大きなものとなることでしょう。</p> <p>私達審議委員も市役所の職員の方も市役所の建物を出れば一市民で部屋の電気や風呂の使い方等で環境に関わっています。「そうだなー、私も出来ることからやろう。」と思えばやることはかなりあります。そして動き出せば市民六十余万人の成果は環境改善に大いに資することになります。さらにはエネルギー関連価格の高騰の今は市民自身の利益も大きいと思えます。</p> <p>一般市民に対し市は、これまでも努力されてきていますが、さらに重点を市民に移して取り組んでいけたら良いなどと思います。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後も計画の『第6章 重点的な取組』や、『第7章 市民・事業者に求められる行動』をはじめとして、市民・事業者・行政とが協働して、また各々で実践できる内容について、周知・啓発してまいりたいと考えております。</p>